

開場記念感謝祭 今年も 2 日間開催。

塩原カントリークラブは4月に恒例の開場記念感謝祭を迎えるが、例年、参加者が増えているため、恒例の開場記念感謝祭コンペは今年も 11,12 日の二日間にわたって開催する。

開場記念感謝祭コンペはメンバーとファミリー会員なら参加することが出来て、例年、250 人前後の参加があり、数年前から二日間の開催となった。参加者には記念品が贈られるほか、開場にちなんだ数字と同じ順位の参加者などには『飛び賞、の特別賞品が用意される。

例年、キャンセル待ちが出ており、今年も予約期間が来たら早めに申し込んだ方が無難なようだ。

今回の予約開始は、2 月 12 日(木曜日)の 10 時からとなっている。

【過去の開場記念感謝祭の写真】



組み合わせはホームページで。

令和 8 年度から、月例杯以外の競技については、その組み合わせをクラブのインターネット・ホームページで告知することになった。

移行するねらいは、運営の効率化と情報伝達の迅速化で、スタート時間の確認と合わせホームページでの確認をお願いしたいとしている。

競技以外のクラブ 99 やグリーンレディース・ジョイフルなどは、今まで通りという事だ。



塩原・11湯の四季②

【如月(きさらぎ)】

湯治(とうじ)～湯との生活リズムで養生～

高原 泉

湯治は地底からの温泉の靈気を受けて疫病を追い出す。祈祷と結びついて古代からあった。「風土記」や「日本書紀」にも記録がある。鎌倉、室町時代の武家社会では、戦傷治療のため長く逗留する湯治が定着し、江戸時代には黄金期となる。

江戸から80キロ徒步でも数日の近場の名湯。塩原の湯は「三日入れば三年風邪ひかぬ」と言われた。明治20年の鉄道開通で、湯治が活発になり、まかないと共同炊事場を持つ二部制の宿が一般化した。一ヶ月以上の長逗留の客も少なくなかった。

昭和になると、高原避暑地と湯治場の二重の性格を持ち合わせるようになった。家族で逗留、文人墨客も増え川沿いに市が立ち、湯治客が賑やかに。農民の長逗留で自炊湯治が一般化、湯治場には芝居小屋が出来、市が立ち、湯仲間文化が生まれた。

病気療養や静養のための長逗留。農閑期に農家の老夫婦の滞在が多かった。秋の取り入れの後、重労働の疲労回復と心身の静養を求めた。慢性持病、神経痛、胃腸病、皮膚病の治療にもなった。

門前、古町、福渡、畠下(はたおり)、塩の湯、上塩原。塩原11湯の中でも、これらの湯で湯治が盛んだった。このうち畠下は湯治向けの宿が軒々と散らばる谷底の湯。湯治客の8割は自炊を選んだ。

部屋は6畳か8畳一間。襖で仕切られ、廊下とは障子が仕切る。布団、座布団、火鉢、冬は豆炭のこたつが備えられる。炊事場がない代わりに共同炊事場があった。コンクリートの大きな流し。長屋の台所みたいな空間に、味噌の焦げたような匂いが漂う。石油コンロまたは薪のかまど。つり棚にそれぞれの包丁、茶碗を置く。客同士の社交の場にもなる。

湯治食は質素だ。胃腸に負担をかけないためだ。白米、五分付き米。味噌汁、漬け物、山菜、焼き海苔、川魚、納豆、豆腐、卵…。行商人が朝夕回った。醤油、塩、砂糖は宿が持つところもあった。

湯治は湯につかることと生活リズムが治療そのもの。朝の5、6時になると、ぬる湯にゆっくりかかる。常連の老人が言う。「朝湯、食後、昼前、昼寝の前後。それに寝る前と湯につかる」と。

午前中は川沿いの遊歩道を散歩。日向ぼっこ。本や新聞を読み眠くなれば昼寝。残り物や麺類で昼食を済ませば、3夕方、3回目の入浴。夕食準備の炊事場が一番にぎわう。

「今日は天気がよく持ったね」「寒さはあったが気持ちいい日だった」。石油コンロの火がいっせいにともり、こんなやり取りで、湯治客の距離は縮まる。夜のとばりがおりるころ、湯冷めをしないよう厚手の半天を羽織り、炬燵に足を入れる。ラジオから流れる音楽を聴きながらウトウトとする。10時を過ぎると廊下の裸電球が一つ、二つと落とされる。



今時の共同炊事場。新居の台所のようだ。

【中里鉄也の目・Q&A】

Q：斜面から上手に打つ方法を教えてください。

A：斜面からのショットは、練習場などの平らなマットでは経験できないため、苦手な方が多いですね。どんな斜面なのか、パターン別で説明します。

1. つま先上がり(ボールが足より高い)の斜面

*ボールが近くにあるため、左に曲がりやすい(フック)のが特徴です。

構え：クラブを少し短く持ります。

狙い：ボールが左に巻くので、最初から右方向を狙います。

スイング：振り回すとバランスを崩すので、コンパクトなスリークオーター(7割)スイングを心がけましょう。

2. つま先下がり(ボールが足より低い)の斜面

*ボールが遠く、空振りをしやすい状況です。右に曲がりやすい(スライス)のが特徴です。

構え：膝を深く曲げて重心を下げ、どっしり構えます。

狙い：ボールが右に逃るので、やや左方向を狙います。

スイング：かかとに重心が寄りやすいので、前傾姿勢をキープしたまま、手打ちに近いイメージで振ります。

3. 左足上がり(進行方向が高い)の斜面

*ボールが上がりやすく、飛距離が出にくい状況です。

構え：肩のラインを斜面と平行に合わせます。

クラブ選択：ロフトが寝て高く上がるため、普段より1~2番手大きいクラブを持ちます。

スイング：斜面に沿って振り抜きます。体重移動を無理にせず、右足に体重が残るくらいでOK。

4. 左足下がり(進行方向が低い)の斜面

*最も難易度が高く、トップやチョロが出やすい状況です。

構え：肩のラインを斜面と平行にします。ボールはいつもより少し右足寄りに置きます。

クラブ選択：球が上がりにくいため、ロフトのあるクラブ(サンドウェッジやピッチングなど)の方が安心です。

スイング：斜面の下方に向かって、低く長く振り抜くイメージを持ちましょう。

全ての傾斜に共通する鉄則

●フルスイングはしない：8割程度の力で、ミート率を優先します。

●素振りを必ず行う：斜面と同じ条件の場所で素振りをし、ヘッドがどこに落ちるか確認してください。

●大振りしないための番手選び：飛距離を欲張らず、一つ大きいクラブで軽く打つのが正解です。

次のラウンドでは、まず「肩のラインを斜面と平行にする」ことを意識してみてください。これだけでも斜面でのミスショットが減ると思います。頑張って下さい！



編集後記

前理事長の古泉桂四郎さんが元旦に逝かれた。通夜の参会者に、故人が趣味で集めたフクロウの木彫りや置物を、生前を偲ぶ品として持ち帰ってもらったという。いい話だと思いながら、そういえば古泉さんは、探求心の象徴といわれるフクロウに似ていたなと思った。ちょっと厚めのメガネの奥に、柔軟な眼差しがいつも光っていた。一緒にプレーをした時、「ボクの体には、放射性物質が入っているんです」。ドキッとして説明を聞いた。前立腺癌の治療法に放射性物質を残置させる方法があり、それを実践しているとかみ砕くように教えてくれた。私は前立腺癌の放射線治療のため、目印にする金の破片二つと、正常臓器に放射線を当てないようにする遮蔽壁を挿入する準備治療を受けた。「私には金が入っています」。あの世で笑い合う日がいずれ来るだろう…。

井上 安正